

日中友好のしんぶん

日本と中国

東京版

特定非営利活動法人 東京都日本中国友好協会 ☎03-3295-8241
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-4 日中友好会館内
ホームページ=http://www.jcfa-tyo.net/ E-mail=to-nicchu@jcfa-tyo.net

頌春

2011年 元旦



♪花・い・ち・も・ん・め♪

北京市青少年キャラバン 東京での学校交流

2010年7月15日



3年ぶりに来日した北京市青少年キャラバン訪日団の一行36人は、(助)東京観光財団の仲立ちで、昨年7月15日午後、品川区の私立小野学園女子中学・高等学校(小野時英校長)を訪問。生徒が企画した茶道体験や折り紙、`花いちもんめ`、英語のゲームなどのプログラムで笑顔満開の交流タイムを過ごした。(撮影=吉田愛子)

新年のごあいさし



NPO 法人
東京都日中友好協会会長
貫洞 哲夫

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、新しい年への希望とともに、お元気で年の初めをお迎えのことと存じます。

昨年、日中友好協会の創立60周年という記念すべき年でありました。私たち東京都日中友好協会もこれを祝賀し、北京の人民大会堂における「10・15北京大集会」に全国の仲間とともに参加して、意義深い交流のひとつを過ごしました。多くの困難と

闘いながら日中友好を追い求めた歴史を振り返り、昨今の日中両国が直面する諸問題に対して、あらためて深く考える機会ともなりました。このようなときこそ、私たちの年来の主張であります「草の根の交流」をいっそう強化して、相互理解を推し進め、日中双方の国民感情の改善を図ってまいりたいと存じます。

新年にあたり東京都日中友好協会は、設立30周年を迎えられる北京市人民対外友好協会をはじめ、中国各地の友好協会と協力して、日中友好事業の着実な進展に向けて努力をいたしたいと思っております。会員の皆様ますますのご繁栄を心からお祈りいたしますとともに、今後とも一層のご協力のほどお願い申し上げます。



東京都知事
石原 慎太郎

新年明けましておめでとうございます。

東京都日本中国友好協会の皆様の両国及び東京、北京両都市間の相互理解と友好促進への多大なる貢献に、深く敬意を表します。

日中友好協会創立六十周年を迎えた昨年、羽田空港から中国北京空港への定期チャーター便就航の効果もあり多くの中国人観光客が東京を訪れました。一方、中国では上海万博が開催され多くの日本人も上海を訪れるなど、社会経済の発展に伴う人的な往来は益々拡大傾向にあります。

しかし、昨年に沖縄県石垣市の尖閣諸島で発生した漁船衝突事件の影響等により日中双方の観光客など渡航者が減少しているのは憂慮すべき事態であります。私自身、北京市の招きにより訪中する予定でしたが、断念せざるをえませんでした。

両国・両都市の友好関係の更なる発展には、人的交流の活発化が不可欠です。東京都は、北京市との合意書に基づき、専門家派遣や都への研修・視察団の受入など、地球規模の環境改善等に資する具体的な取組を引き続き進めてまいります。民間レベルにおいても、次代を担う青少年をはじめ広範な人々が相互に訪問し、異なる文化を体験しながら理解を深められますよう願っております。

結び、東京都日本中国友好協会の益々のご発展と皆様のご健勝、ご多幸を祈念して新年の挨拶とさせていただきます。



東京都議会議長
和田 宗春

本年も輝かしき一年でありますようにお祈り申し上げます。

わが国と中国は悠久の歴史を、大陸と海を隔てた存在として共有してまいりました。正倉院の御物をみても明らかのように、ヨーロッパからシルクロード、中国、わが国へとさまざまな技

術や文化が伝えられ、それらをわが国流に工夫して日本に定着させることに成功しています。その意味でも中国は大変なお役を果たしたことになります。

時代は流れて今日、わが国からは公害対策の環境技術や精密機械の技術が中国に役立てられています。中国市場もわが国の魅力でもあります。このような技術交流、経済交流をはじめとする友好交流を深めることによって、日中の友好都市である東京・北京の絆を太くしていく必要があります。今年が東京都日中友好協会にとって目的を達成される一年でありますように……。



北京市長

郭金龍

旧年を送り、新年を迎える麗しい時期にあたり、私は、北京市民を代表して、東京都日中友好協会の会員の皆様と、東京都日中友好協会に賛同の各界の皆さんに、北京と東京の友好関係の発展を祈り、謹んで新春のご挨拶と心からの感謝の意を申し上げます。

過ぎ去った一年は記念すべき年でした。日中友好協会創立60周年、また貴協会はNPO法人として10周年を迎えられました。さらに貴国の友人の関心と支援のもと、上海万博が成功裏に開催された年でもありました。中日両国及び両首都の友好人士の間で、さまざまな記念交流行事が行われ、お互いの友好の感情がますます深まりました。北京市と東京都の堅実な民間交流の基礎にたち、両都市間の交流を積極的

新年のごあいさつ

北京から



北京市人民对外友好協会会長

趙家騏

友人の皆様、明けまして、おめでとうございます！ 辞旧迎新に際し、私は北京市人民対外友好協会を代表して、長年にわたって北京と東京の民間交流事業に「尽力」されている東京日中友好協会の会員の皆様、並びに中日友好事業に関心と支持を寄せられている各界の皆様、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

2010年は日中友好協会創立60周年と東京日中友好協会がNPO法人化10周年を迎えた年であり、私たちは日本の友人と共にこの重要な歴史のひとときを過ごしました。この一年、中日両国人民は肩を並べ手を携えてともに努力し、多くの分野で豊富多彩な交流活動を行い大きな成果を収めました。今、中日関係にはいささかの困難があ

2011年の活動と財政問題を検討

第15回常務執行会議を開催

NPO都日中は、12月7日、工学院大学孔子学院会議室で、第15回常務執行会議を開催し、2011年の活動予定ならびに逼迫する財政問題について討議した。

都日中の活動のなかで、コロナ委員会が担当する工学院大学孔子学院との共同講座「中国問題を読み解く」について、2011年も継続する方向で意見がまとまり、都日中関係者の参加を増やす方策などを具体的に検討していくことになった。

1月は北京市アニメ交流団が来日する。3回目の今回は、西城区、石景山区などから生徒30人

新年のごあいさつ

北京から

た交流会(2/20)

- 地区協会の春節新年会
千代田区日中(2/5)、渋谷区日中(2/5)、豊島区日中(2/6)、北

「世界の中の日中関係を学ぶ

新入会員セミナーで 西園寺会長代行が講演

NPO都日中は、11月27日午後、上野の東京文化会館会議室で新入会員セミナー「日中友好協会について」を開催した。

会では、西園寺一晃会長代行が「日中友好とは何か」をテーマに講師を務め、「世界の中での日中関係」という視点から、とくに近代以降の世界的背景と日中関係に



2011年 日中友好新年会
日時 一月二十日(木)午後4時
会場 如水会館「スターホール」
会費 一万円(当日受付で申受けます)

半島や中国との間に非常に不幸な時代に入った。戦後、東西冷戦のなかで、日本を対ソ連、対共産主義陣営の橋頭堡にするために米国の対日戦略が変化し警察予備隊、保安隊、自衛隊ができた過程。さらに60年代末、ソ連と袂を別かち文革の混乱にあつた中国と、ベトナム戦争の泥沼化に陥つていた米国の、毛沢東とニクソンの焦りにより対



2010年はどんな年だったか。

世界中が苦しんだりリーマンショックからいち早く立ち直り、上海万博を成功させた中国の存在感が目立った。一方で人民元軍拡、領土、環境、人権、北朝鮮などを理由にした国際的な中国バッシングが起きた。日中関係は漁船衝突事件が領土問題を呼び起こし大揺れした。日本政府は対中話し合いより、米国の引き入れるのに腐心、日米安保まで持ち出し問題を複雑化させた。中国も領土問題が起きると、青年交流まで止めるという理解し難い愚挙に出た。日本のメディアの大勢は中立、公正、冷静な姿勢から逸脱、中国バッシングに加担した。政治経熱から脱却、政治関係の正常化を実現し、国民感情も改善の兆しが出てきたところに落ちた爆弾。今年はこの現実から出発せざるを得ない。ただ日中関係はこれ以上悪化しないだろう。それは、相争えば双方とも不利益を被り、アジアの安定を損なうと知っているからだ。今年の日中間に協調志向が働くと信じている。友好運動はその先頭に立つ気概を持つ。なんと云っても国民同士の信頼関係構築こそ両国関係の基礎だからだ。私たちは一喜一憂する事はない。今まで通り肅々と、自信とプライドを持って進むだけだ。

TOKYO GUARANTEE
東京信用保証協会
理事長 横山 洋吉
東京都中央区八重洲2-6-17 TEL03 (3272) 2251
ホームページ www.cgc-tokyo.or.jp

東京都国民年金基金
理事長 貫 洞 哲 夫
専務理事 中 村 文 雄
〒160-0021
東京都新宿区歌舞伎町2-44-1
東京都健康プラザ15階
TEL 03-5285-8800

2010年 市民交流訪中団 帰国第2報

都日中では、2010年10月に、午後、日本全国から集まった会員と北京市民対外友好協会の招請で、もに日中友好協会創立60周年祝賀行事2010年市民交流訪中団を派遣した。に参加した。交流(祝賀)の行事を終えた10月15日、第14次渋谷区民代表訪中団 一行は、コースに分かれ、北京市対友協が合流して、午前は市民交流のついで、の案内で、中国各地を参観した。

革命の聖地・延安

Aコース(延安・西安)

永年の懸案であった、千人程の寒村だったが、延安への旅がようやく実現した。エドガースノウの著書『中国の赤い星』やアグネス・スメドレーの『偉大なる道』は学生時代に私にとり、大きな衝撃であり新しい中国に関心を持つきっかけでもあった。以来、革命の聖地・延安をいつか訪れたいと願っていた。



鳳凰山の中腹にある毛沢東旧居(前列左が筆者)

農作物は果樹類が多く、青森県からリンゴの苗と技術を導入し、今では輸出も行っている。高速道路の両側は、リンゴのピンクであふれている。革命戦争を戦う中、毛沢東は、ここで『実践論』『矛盾論』『持久戦論』『新民主主義論』などの多く論文を発表している。当時、延安を世界に紹介した外国人ジャーナリストが「延安には日用品などはほとんどなかったが、本屋がたたくさんあった」と読書に励む人々の様子を記している。今回、万仏寺と隣り合わせにある新華印刷所、新華書店発祥の地に立ち、感慨深いものがあった。

この日の夜、徐州へ。山全体を掘り起こした前漢時代の地下宮殿、亀山漢墓には小麦や酒の器まであり、死後の住まいを現世と同じに完成させた古代の信仰と権力に圧倒された。「南船北馬」の地・淮安の宴会では、ストロークで熱々の蟹スープを吸い込んでいた。大龍

周総理の故郷を訪ねる

Bコース(徐州・淮安・南京・上海)

正面に軍馬とともに立つ壁に、ベチューン(カナダ人)で紅軍の医師として活躍、国際友人として尊敬されていると会談してある写真が、掲げられていたこと。延安医学大学つだった。(三好敏)



淮安の周恩来記念館で

や緑深い明孝陵など長い歴史を誇る史跡を駆け足で巡った。呉錫軍会長主催の歓迎宴では、「世代々の友好のために」と何度も杯を交わした。20日、鎮江のパールバック記念館に立ち寄り、夕刻上海着。徐州から約850キロに及ぶバスの旅を終えた。

使用していた質素な家具や毛主席とのホットライの電話機などがあり、新中国の建設に心血を注いだ人となりに触れた思いがした。午後、高速で南京へ。江蘇省対友協の案内で夫子廟参観。翌日は中山陵

懐旧の大連・旅順

第14次渋谷区民代表訪中団 (大連・旅順・北京)

10月12日から16日の5日間、第14次渋谷区民代表訪中団22名(団長・坂田和子渋谷区日中理事長)は、北京と「懐旧の大連・旅順を訪れた。

12日午後、大連到着。直ちに大連港港務局へ。上海に次ぐ中国第二の大貿易港といわれる全景に圧倒された。異国情緒たつぷりのロシア人街近代的ビルと戦前の建物が混在している中山広場、日本統治時

代の欧風建築物が数多く残っており、なかでも旧ヤマトホテル(大連賓館)は威風凛々としていた。二日目は日清・日露戦争の主戦地旅順を訪れた。東鶏冠山北堡壘のトーチカ・二百三高地、爾蓋山と記された記念碑、日露西軍首脳が見た水師管会見所などを見学、このテンプルの高さが際立っていた。戦死した日本軍人を祀るために建てられた

精進料理を堪能

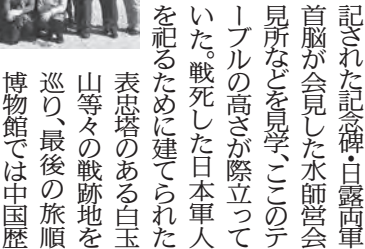
Cコース(北京)

Cコースは10月16日、暖かく晴天の中、牧田常務副会長、片岡理事長、阿部副理事長と私、対友協から李徳志部長、馬恵麗さん、ガイドさんで北京の西郊外・門頭溝区にある戒台寺と潭拓寺を参観した。区職員の家内で戒台寺を見学した後、潭拓



寺を見物し嘉福飯店で精進料理をいただいた。中国での精進料理は4年前、福建省廈門の禅寺に続いて2回目だが、そのときは大満員で賑やかなだったのに対して、潭拓寺では我々だけで静かな中での食事だった。

(まが)の炒め物、木耳の炒め物、蓮根の穴に詰め物をした蜂蜜の掛かった蒸し物、木製太鼓橋に日本料理の舟盛に似せてコンニ



肉や魚としか思えない素材の数々に驚きながら料理を堪能して、満たされた気持ちでホテルに戻った。(末廣綾子)

種類は約17品。豚肉擬

旅順・東鶏冠山で記念撮影

協の歓迎宴では、

に終えた。(永田哲一)

の歓迎宴では、

二十一世紀旅行創業25周年記念特別企画

2つの故宮博物院を鑑賞する 『こだわりの旅』

一度の旅で北京と台北の二つの故宮を訪ねます。北京では先ず天安門に登楼して目前に広がる天安門広場を眺望し、その後、皇城内に収蔵されている品々を鑑賞します。台北では大陸から運ばれた貴重な宝物が展示されている台北故宮をご見学いただけます。

[募集要項]

- 訪問期間=2011年3月10日(木)~3月14日(月)
- 訪問都市=台北・故宮
- 旅行代金=118,000円(燃油サーチャージ含まず)
- 募集人員=15名(最少催行人員10名)
- 申込締切=2011年2月5日(土)

旅行企画・実施

中国の旅・世界の旅
株式会社 二十一世紀旅行
 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-4 日中友好会館3階
 TEL03(5281)2460 FAX03(5281)2465
 観光庁長官登録旅行業第709号 JATA 正会員
 総合旅行業務取扱管理者・増山章

Temjin 真実的中国と真実的日本
 テムジン ドキュメンタリー番組
 「いのちドラマチック」#23 ダチョウ
 品種交配、遺伝子組み換え、クローン技術…。毎回「ヒトがつくったいのち」を取り上げ、その誕生によってもたらされた恩恵や感動のドラマを紹介する番組。

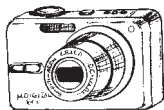
放送: 2011年1月12日(水) 21:30~21:59 NHK BS-hi
 2011年1月13日(木) 20:30~20:59 NHK BS2

株式会社テムジン
 〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-34-4 TEL:03-5465-6678

浄土宗 梅窓院
 住職 中島真成

〒107-0062 東京都港区南青山 2丁目 26-38
 電話 03 (3404) 8447 (代) FAX 03 (3404) 8107
 梅窓院ホームページ URL=http://www.baisouin.or.jp/

この1年の歩み



- ①1/10 ~ 15 第16回東京都特別支援学校書作展 (北京市石景山区培智中心学校から4人出品、都政ギャラリーで)
- ②1/16 大田区中国帰国者等支援事業・茶道教室
- ③1/21 2010年日中友好新年会(牧田都日中常務副会長の音頭で乾杯)
- ④1/22 ~ 25 東京都囲碁愛好者訪中団(建設中の上海万博会場を見学)
- ⑤1/23 日中女性新春の集い
- ⑥1/26 ~ 31 北京市青少年アニメ交流訪日団 (a: 文京区茗台中学、b: 都日中主催歓迎宴)
- ⑦2/19 ~ 23 北京市青梅マラソン訪日団(OB選手ら6人来日、青梅市主催のウェルカムパーティーで)
- ⑧3/20 教職員部会連続講座(「2012年問題」講師: 木村誠次氏)



- ⑨3/25 広東省老年太極拳愛好者交流大会(NPO太極拳友好協会(TFA)との交流大会・広東省対友協派遣)
- ⑩3/29 大田区中国帰国者等支援事業「講演と音楽の集い」(メロディーポケットによる「音楽紙芝居」)
- ⑪4/16 北京市婦女連代表団来日(立川拘置所で概況の説明を受けた)
- ⑫4/20 「中国問題を読み解く」4月講座(「国民の権利保護-中国政治の新課題」講師: 丹藤佳紀氏)
- ⑬4/25 第7回日中友好スポーツ交流会(北京オリンピック全日本卓球女子の近藤監督に手ほどきを受ける)
- ⑭5/15 第7回平山都夫シルクロード美術館日帰りバスツアー
- ⑮6/6 ~ 9 「上海万博訪問団」(団長: 貴洞哲夫会長) (写真は、周慕暁・上海市対友協元会長の歓迎宴で)
- ⑯6/19 第23回理事会(第5回常務理事会合同)
- ⑰6/26 NPO法人東京都日中友好協会第10回通常総会(a: 来日した北京市対友協代表団(団長・李曉強常務副会長)、b: 総会祝賀レセプション・北京市対友協代表団歓迎会で)



都日中 活動日誌 2010年

《一月》

- 5日 上海市対友協協議代表団訪問
- 9日 中国語上履講座
- 10日 東京都特別支援学校書画展(15日)
- 16日 第7回常務執行会議(大田区中国帰国者等支援事業・茶道教室)
- 21日 (社)日中友好協会第20回通常総会、2010年日中友好新年会(社)日中友好協会共催)
- 22日 第4回東京都囲碁愛好者訪中団(1/25)
- 23日 日中女性新春のつどい

《二月》

- 7日 第25回中国語春節スクーリング
- 15日 常務執行会議
- 20日 教職員部会連続講座
- 23日 「中国問題を読み解く」3月講座
- 24日 第22回理事会(第4回常務理事会合同)
- 25日 広東省老年太極拳愛好者交流大会
- 28日 第4回国際太極拳力球交流大会 in ときよ(共催)
- 29日 大田区帰国者等支援事業 講演と音楽の集い

《三月》

- 6日 中国語入門講座開講
- 15日 八王子問題検討会
- 16日 北京市婦女連代表団都内視察(多摩少年院・立川拘置所)・女性委員会主催歓迎会、「革命の聖地を巡る旅」(4/23)
- 20日 「中国問題を読み解く」4月講座
- 25日 第7回日中友好スポーツ交流会
- 28日 大田区中国帰国者等支援委員会

《四月》

- 8日 中国語上履講座
- 12日 常務執行会議
- 13日 関東甲信越フロック会議
- 15日 平山都夫シルクロード美術館日帰りバスツアー
- 25日 「中国問題を読み解く」5月講座
- 28日 鈴木俊一名誉顧問(元都知事)東京都舞
- 29日 常務執行会議

《五月》

- 3日 大田区中国帰国者等支援委員会
- 13日 中国語上履講座
- 17日 常務執行会議第3回常務理事会
- 19日 北京市民青梅マラソン訪日団(2/23)、青梅市日中主催歓迎会
- 21日 第44回青梅マラソン大会
- 22日 北京市民青梅マラソン訪日団・役員昼食歓迎会
- 23日 「中国問題を読み解く」2月講座(工学院大学孔子学院共催)
- 27日 大田区帰国者等支援事業・茶道教室

東京都日中写真でみる



23



26



28



30



31



32



19

29日 第37回中国語夏期スクーリング
24日 第26回「日本と中国音楽の夕べ」
27日 関東甲信越プロジェクト会議(8/28)
24日 党務執行会議
27日 関東甲信越プロジェクト会議(8/28)

23日 太極柔力球普及講習会(25日・共催)
7日 党務執行会議
2日 第26回「日本と中国音楽の夕べ」

18/7/9 中国大使館での中国映画鑑賞会
19/7/14～19 北京市青少年キャラバン訪日団(写真は、私立小野学園女子中学・高等学校での交流風景)
20/7/17 教職員部会連続講座(「日中友好 私の道」講師:坂田和子氏)
21/7/20 「中国問題を読み解く」7月講座(「中国の高度成長と社会格差を巡って」講師:高橋満氏)
22/8/3 大田区中国帰国者支援・講演と音楽のつどい
23/8/14～21 「北京と上海万博・江南の古都を巡る旅」(写真は、8/20上海万博・中国館で入場を待つ人波)
24/8/29 第37回中国語夏期スクーリング
25/9/21 「中国問題を読み解く」9月講座(「大河失調—砂上の楼閣・北京」講師:上田信氏)
26/9/30 第6回常務理事会

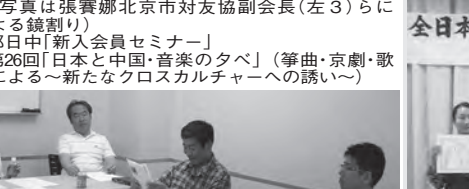
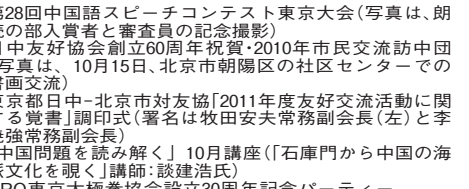


27日 都日中「新入会員セミナー」
20日 教職員部会連続講座
16日 「中国問題を読み解く」11月講座
13日 中国語中・日講座
3日 大田区中国帰国者支援講演(音楽の集い)
12日 八王子プロジェクト会議
14日 「北京と上海万博・江南の古都を巡る旅」出発(8/21)

27日 都日中「新入会員セミナー」
20日 教職員部会連続講座
16日 「中国問題を読み解く」11月講座
13日 中国語中・日講座
3日 大田区中国帰国者支援講演(音楽の集い)
12日 八王子プロジェクト会議
14日 「北京と上海万博・江南の古都を巡る旅」出発(8/21)



29



26日 中国大使館での中国映画鑑賞会
10日 中国語中・日講座
13日 党務執行会議
14日 北京市青少年キャラバン訪日団来日(7/19)
15日 北京市青少年キャラバン訪日団小野学園交流
17日 教職員部会連続講座
20日 「中国問題を読み解く」7月講座
20日 八王子プロジェクト会議
31日 千代田区日中周恩来写真展(8/4)

26日 「中国問題を読み解く」10月講座
28日 東京太極拳協会30周年祝賀北京市対友協代表団来日(11/2)
31日 NPO法人東京太極拳協会30周年祝賀交流大会・パーティー



18



21



22



24



25



27

20日 「見に行く会いに行く中国の旅」(9/25)
21日 「中国問題を読み解く」9月講座
30日 第6回常務理事会

2日 市民交流訪中団結団式
3日 全日本中国語スピーチコンテスト東京大会
9日 中国語中・日講座
12日 第14次渋谷区民代表訪中団(10/16)
14日 協会創立60周年祝賀2010年市民交流訪中団(10/17・20・21)
15日 東京 北京市市民交流の集い、2011年度交流書調印式、北京市対友協主催歓迎会、10・15北京大集會

6日 上海万博参観団(6/9)
12日 中国語中・日講座
16日 党務執行会議
19日 第23回理事会(第5回常務理事会合同)
21日 (他)日中友好協会第21回通常総会
22日 「中国問題を読み解く」6月講座
24日 北京市対友協代表団来日(20日)
25日 北京対友協代表団
都庁・墨田区訪問、都日中役員歓迎夕食会
26日 都日中第10回通常総会、北京市対友協歓迎会、総会給賞レセプション

全日本中国語スピーチコンテスト 東京大会



27

《六月》

《九月》

第26回日本と中国・音楽の夕べ

感じた、クロスカルチャーの魅力

日中友好協会創立60周年と都日中NPO法人化10周年の最後を飾る催しとして、都日中第26回「日本と中国・音楽の夕べ」が12月2日、誕生したばかりの渋谷区文化総合センター大和田「伝承ホール」で開催された。

「新たななるクロスカルチャーへの誘い(さな)い」と題した音楽会は、生田流箏曲・秀恵会(会長・田流箏曲・秀恵)と「北海民謡調」(宮城道雄作曲)で華やかに幕を開けた。「春の海」



幕開けは生田流箏曲・秀恵会



張紹成さん演じる趙雲

のゆつたりとした調べのあとは、歌いながら演奏した「川の流れるように」。客席も一緒に声を合わせて、和やかな雰囲気になりました。

次の舞台は、「三国志」の蜀の名将・趙雲に扮した張紹成さんが登場。すべて手刺繍という美術品のような鎧は、「私よりも高価」と会場を笑わせながら、小道具の表す意味や美しい見方の切り方など京劇の決まりごとを楽しく分かりやすく

に幕を開けた。「春の海」のゆつたりとした調べのあとは、歌いながら演奏した「川の流れるように」。客席も一緒に声を合わせて、和やかな雰囲気になりました。

次の舞台は、「三国志」の蜀の名将・趙雲に扮した張紹成さんが登場。すべて手刺繍という美術品のような鎧は、「私よりも高価」と会場を笑わせながら、小道具の表す意味や美しい見方の切り方など京劇の決まりごとを楽しく分かりやすく



名曲を歌い上げるユウ燕さん

く説明した。敵役の魏の武将・張コウとの激しく華麗な立ち回りに、会場から割れんばかりの拍手が起きた。

第3部は、オリジナル曲「生命ひとつだけ」から、重慶出身の歌手・ユウ燕さんのオン・ステージが始まった。日本の叙情歌メドレーの1曲「里の秋」については、「日本に来る前は中国の歌と違って歌っていた」と話した。

2010年6月に香港で

開催されたテレサテンの楽曲歌唱コンクールで優勝した歌唱力で「恋人たちの神話をしつとりと聞かせた。蘇州夜曲」涙そうそう」などトークや手話を交えての名曲に続き、圧倒的な声量で歌い上げた「青蔵高原(千年の祈り)は聴衆を魅了した。

フィナーレは、秀恵会の身崎充さん、京劇の張紹成さんも登場、会場一体となって「海はわが故郷」を大合唱した。

音楽会実行委員会と各界の協力で作成のカラープログラムには、協会の歩みを写真で掲載、記念版として大好評だった。

地区協会だより

飛び交う笑顔と中国語

西東京市日中

11月20日、西東京市中は市民会館会議室で恒例「日中こぼれの交流会」を開催した(写真)。

本会は近年、地元武蔵野大学との交流を深め、学長杯武蔵野大学スピーチコンテストに審査員とともに西東京日中友好協会賞を出している。今回の交流会には大学生、院生が友情参加した。

マンツーマンで、日本人は初対面の中国人に中国語で自己紹介から始め



る。中国人留学生は語学水準が高いので就職面接試験を想定し敬語を使わずに日本語に挑戦、互いに会話能力を高めた。明るく礼儀正しい留学生のおかげで部屋は笑顔と笑い声でいっぱいだった。

若き社会人の中村佑さんは「私の学習で最も不足しているのが会話。非常に有意義な時間を過ごせた」。以前大手商社勤務の渡辺知加真路さんは「久しぶりに中国語を十分話せた」と感想。「一般の日本人と話す機会ができて嬉しい。次の会が楽しみ」と留学生たち。

交流会では「お楽しみクイズ大会」も行われ、河南省から来ている留学生・胡振華さんは希望の日本人形を当てて大喜び、在、福島県庁に出向中で、車で2時間かけて我々を迎え、見送ってくれた。

帰路の車中は、カラオケ大会。中国側は歌舞団の元オペラ歌手、歌手志望の男性会社員、プロ顔負けの母娘の美声で日本側を圧倒、「コンサート会場にいるみたい」との声も聞かれ、大いに友好を深め、19時半、無事帰京した。(丸山隆司)

会員の上海万博体験記

184日間で7300万人が訪れた2010年上海万博。8日間一人歩きの金山久夫さんと、日本青年万博訪問団団員の濱茉莉香さんの万博体験を紹介する。

8日間の一人旅

日中関係の軋みが報じられる中、都日中の助けを借りて上海万博に6月と10月に延べ8日間のひとり旅をした。

第7ゲートは朝7時半、開門を待つ人、人、人が「何人でも来た」どこに山人海に驚き戸惑っている、女子ボランティア学生に1940年以前から次々と話しかけてくるとして、都日中第26回「日本と中国・音楽の夕べ」が12月2日、誕生したばかりの渋谷区文化総合センター大和田「伝承ホール」で開催された。



会場を結ぶフエリーはいつも超満員(筆者撮影)

の活動しやすい作りで、日本の伝統美が感じられた。ニコニコ顔で説明してくれた女性は意外にも中国人であった。

参加246の国・地域、白地図に各国の中国名を書き入れ、官方導覽手冊を手に1日約2万5千歩を歩き、印した。随所に立つボランティアの若者達は障書のある者、車椅子の老人、乳幼児に大変思いやりがあった。

10月下旬ボランティア万博会場では、中国館

若者との交流

(直属会員・金山久夫)

今回の訪中(日本青年上海万博訪問団10/27~30)で印象的だったのは、上海の街の著しい発展の様子です。広大な土地に様々なパビリオンが建設された万博会場や、整備された道路、至る所に掲げられた万博の看板や公式キャラクターらは急激な中国の経済発展を万博を通してアピールしているかのようでした。

また多くの大学生がボランティアとして訪問団に付き添い、お世話してくれました。連日とても忙しいスケジュールでしたが、疲れた顔一つせず、私の片言の中国語にも耳を傾けてくれ、短い期間でも何時間も待つはずのところをいくつも見学できたことや、万博会場以外でも訪問団の為に道が封鎖され、デパートが貸し切られるなど特別な待遇を受け、私達の安全に中国側が細心の注意を払ってくれたことを感じました。

今回の訪中は尖閣諸島の諸問題で当初の予定が延期となったり、様々な困難もありましたが、私達日本の青年が上海万博を通して現在の中国に触れ、多くの若者と交流することができたことは、良好な日中関係の回復への一歩であると実感しています。

(学生会長・濱茉莉香)

『フラガール』の舞台にバスハイク

北区日中

北区日中恒例の友好バスハイクが11月23日、日本人13名、中国人38名の参加で実施された。早朝にもかかわらず花川会長(北区長)の見送



わたしと中国を結ぶ一冊 『友好手帳』

日本と中国に関する便利な情報満載!! 定価(1冊) 900円(税込・送料別)

カバー (黒・赤) 縦 15cm×横 9cm

◆ご注文: NPO法人 東京都日本中国友好協会 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-4 日中友好会館5階 e-mail: to-micchu@jcf-a-tyo.net tel:03-3295-8241 fax:03-3295-8255

子供は長拳。大人は太極拳。練習する子は強くなる! 大人は元気で寝込まない!

新年に各地区協会でもひとつずつ太極拳教室を作りませんか?

NPO法人 太極拳友好協会 会長 小池 義則 〒351-0115 埼玉県和光市新倉 1-3-58 1-202 E-mail tfa@h8.dipn.ne.jp Tel・Fax 048-467-3229 URL http://www.t-f-a.org/

工学院大学孔子学院との共同講座

中国問題を読み解く

◆11月講座

「米中関係と日本」

11月16日は朱建栄氏(東洋学園大学教授)による「米中関係と日本」。

この日のテーマである米中関係に進む前に、尖閣諸島の事件に触れ、問題のひとは、日本がアメリカを引き込んでしまったこと。今の日中問題をただ2国間ではなく、広い視野で考える機会にしたいと話を進めた。

9月の事件当時、上海にいた朱氏は、中国の報道や理解が日本と大きく違っていたことを紹介した。中国では、逃げようとする漁船を巡視船が常に外に回って封じ込めたと



朱建栄氏

分析、日本は何をしようとしているのか、と疑心暗鬼が生じた。また、日本で報道された深夜の大使呼出しは実際は午後8時の連絡後、大使館が本庁に問い合わせた返事が11時半になり、結果として深夜になった。この事情は日本の外務省が発表すればはつきりすることであったなど日本の報道だけでは見えない部分が見えてくる。残念ながら、これまでアジアが団結することはなかった。



三宅進氏

摩擦があっても、日中は相互依存関係にあり、両国はアジアの大国として責任がある。日本は二者択一ではなく、選択肢を広げる、あるいは選択

の契機となった。大阪出身の父は、南満州鉄道に勤務し鞍山で生活、家族は鞍山の山の手に住んでいたが、侵入を防ぐ鉄条網に囲まれていたこのころ、馬賊などが出没して

い問題に重点をおいた費率を気にして動いたことが大きい。中国側の問題は、国内の反発を抑えることが難しく、今の中国は、中は自由だがコントロール不可能な鳥籠政治の形態になっている。尖閣の問題から中国が1000人の青年の万博訪問を延期したのは大きな傷を残した。

教職員部会11月例会は、三宅進氏(婦人之友相談役・都日中副理事長)に報告をお願いした。三宅氏は、少年時代を旧満州で過ごした。昭和6年、4歳の時に柳条湖事件が起こり、15年戦争

いたともいえる。母は子供たちに本籍地を覚えさせていた。「大阪市住吉区2丁目」：今思えば、誘拐などされたときの為だったのになかったかと。その母は「婦人之友」の熱心な読者で、氏から見ても、理性的な女性だった。その後日本人学校に通学、アイススケートやラグビーを愛し、思われた少年時代を過ごした。

しかし、当時の日本政府は満州支配を維持するために、武装移民団を編成して満州北部に入植させたり、貧しい農民を集団で移住させる政策を推し進めていた。さらに「満蒙开拓青少年義勇軍」を

集めて満州に医療も受けられない農村の子供のことを放映していた。なんとこの都市住民と農村住民の格差。今、全人口13億中の農村人口7割。圧倒的に底辺層が多いのである。鄧小平さんは「富める者が先に富めば底辺層も豊かになって行く」と言った。そんなことはあるまい。富める者が富めば、どんどん格差が広がっていった。日本だって同じではないか。農村が都市を包囲するとして成就した中国革命。農村は置き去りにされている。毛沢東が生きていたころ。カミさんと同じ思いなのである。(滝)

■2011年宋侃さんの中国語土曜特別講座「中国語会話上達シリーズ」聴力「聞く」を鍛える日時①1月15日(土)13時～15時②2月19日(土)13時～15時③3月13日(日)10時～16時30分会場/日中友好会館7階会議室受講料/2千円/1回③は会員・教室受講生は4千円(春期スクーリングとして開講)、一般4千500円。定員/20名主催/都日中中国語普及委員会

■東京都特別支援学校書道作品展会期/1月13日(木)～18日(火)9時半～17時半会場/都政ギャラリー主催/東京都教育委員会・東京都特別支援学校文化連盟*北京市西城区(旧宣武区)培智中心学校から特別参加。

うちのカミ讚

No.101

◆格差社会

NHKテレビ「クロアツアップ現代」を見ていて、ちょっと私が眼をそらしていたら、カミさんが「見て、見て」と叫ぶ。私が視線をテレビに戻すと中年の中国の婦人がインタビューを受けていた。この人、昔の私の同僚よ、小児科の医師で私とペアを組んで一緒に夜勤もしたし、私の家にもしょっちゅう来て食事もしていったの。前回実家に帰った時一緒に食事

もしたし、旦那は社長でお金持ち。もうそろそろ定年のはず」という。その日の「クロアツアップ現代」の特集は「外国人患者を獲得せよ」とある。蚊に刺されて脚が腫れあがった。医師が薬を塗ると1日で治った。口内炎に薬をつけてもらったら、沁みもしない。元同僚は「いい薬はあるし、日本はいい、また来たい。20歳代の頃であつたら日本に来てしまったのにな」とえらく気に入ってしまったという。こんな「ツアー」で日本に来られるのは中国でも都市の富裕層に限られる。この元同僚もその富裕層の一員であろう。

「医療ツアー」の費用

の日程。総費用48万円。人民元に換算すると約40万円。この「医療ツアー」でカミさんの元同僚は日本にやって来たのである。蚊に刺されて脚が腫れあがった。医師が薬を塗ると1日で治った。口内炎に薬をつけてもらったら、沁みもしない。元同僚は「いい薬はあるし、日本はいい、また来たい。20歳代の頃であつたら日本に来てしまったのにな」とえらく気に入ってしまったという。こんな「ツアー」で日本に来られるのは中国でも都市の富裕層に限られる。この元同僚もその富裕層の一員であろう。

4万円といえは、私の友人高集氏の給料も4万円である。昨年9月末、日本での機械の買い付けと観光を兼ね社員七、八人とやって来た。彼はアメリカの大手製薬会社の大連工場長。高級住宅地の大きな家に夫婦2人で住む。以前、私が大連に行った時、泊めてもらった事がある。車も夫婦それぞれで1台ずつ持つ。すでに定年退職をした夫人を一人残して、彼はよく出張に出る。すると夜、夫人は怖いらしい。泥棒や強盗がよく出没するのだ。金持ちには金持ちの悩みがある。彼も都市富裕層の一員である。以前NHKの中国の特

「医療ツアー」の費用

の日程。総費用48万円。人民元に換算すると約40万円。この「医療ツアー」でカミさんの元同僚は日本にやって来たのである。蚊に刺されて脚が腫れあがった。医師が薬を塗ると1日で治った。口内炎に薬をつけてもらったら、沁みもしない。元同僚は「いい薬はあるし、日本はいい、また来たい。20歳代の頃であつたら日本に来てしまったのにな」とえらく気に入ってしまったという。こんな「ツアー」で日本に来られるのは中国でも都市の富裕層に限られる。この元同僚もその富裕層の一員であろう。

の日程。総費用48万円。人民元に換算すると約40万円。この「医療ツアー」でカミさんの元同僚は日本にやって来たのである。蚊に刺されて脚が腫れあがった。医師が薬を塗ると1日で治った。口内炎に薬をつけてもらったら、沁みもしない。元同僚は「いい薬はあるし、日本はいい、また来たい。20歳代の頃であつたら日本に来てしまったのにな」とえらく気に入ってしまったという。こんな「ツアー」で日本に来られるのは中国でも都市の富裕層に限られる。この元同僚もその富裕層の一員であろう。

の日程。総費用48万円。人民元に換算すると約40万円。この「医療ツアー」でカミさんの元同僚は日本にやって来たのである。蚊に刺されて脚が腫れあがった。医師が薬を塗ると1日で治った。口内炎に薬をつけてもらったら、沁みもしない。元同僚は「いい薬はあるし、日本はいい、また来たい。20歳代の頃であつたら日本に来てしまったのにな」とえらく気に入ってしまったという。こんな「ツアー」で日本に来られるのは中国でも都市の富裕層に限られる。この元同僚もその富裕層の一員であろう。

の日程。総費用48万円。人民元に換算すると約40万円。この「医療ツアー」でカミさんの元同僚は日本にやって来たのである。蚊に刺されて脚が腫れあがった。医師が薬を塗ると1日で治った。口内炎に薬をつけてもらったら、沁みもしない。元同僚は「いい薬はあるし、日本はいい、また来たい。20歳代の頃であつたら日本に来てしまったのにな」とえらく気に入ってしまったという。こんな「ツアー」で日本に来られるのは中国でも都市の富裕層に限られる。この元同僚もその富裕層の一員であろう。

の日程。総費用48万円。人民元に換算すると約40万円。この「医療ツアー」でカミさんの元同僚は日本にやって来たのである。蚊に刺されて脚が腫れあがった。医師が薬を塗ると1日で治った。口内炎に薬をつけてもらったら、沁みもしない。元同僚は「いい薬はあるし、日本はいい、また来たい。20歳代の頃であつたら日本に来てしまったのにな」とえらく気に入ってしまったという。こんな「ツアー」で日本に来られるのは中国でも都市の富裕層に限られる。この元同僚もその富裕層の一員であろう。

漢詩かるた交流会

とき 2月20日(日) 14時～16時30分
会場 渋谷区リフレッシュ氷川(2F)
参加費 500円(高校生以下無料)
「漢詩かるた」を使って行うゲーム大会、漢詩朗誦、そして楽しい交流の時間
問合せ/都日中事務局 ☎ 03-3295-8241

ご案内

2011年宋侃さんの中国語土曜特別講座「中国語会話上達シリーズ」聴力「聞く」を鍛える日時①1月15日(土)13時～15時②2月19日(土)13時～15時③3月13日(日)10時～16時30分会場/日中友好会館7階会議室受講料/2千円/1回③は会員・教室受講生は4千円(春期スクーリングとして開講)、一般4千500円。定員/20名主催/都日中中国語普及委員会

新年を祝して、おいしい中華料理を味わいながら新春の集いを開催します。日時 2月26日(土) 12時から会場 中国料理 新橋亭 主催 都日中女性会員有志 詳細は都日中事務局にお問い合わせください

任意期間、いつでも入学。年齢制限なし ⇒【悠々コース】 その他にも【中国語マスターコース】【日常会話コース】【ビジネスコース】【中国語学習と観光コース】あなたに合った5つのコースからお選び下さい 詳細は下記ホームページをご覧ください <http://chugokugo-tokyo.asia> 案内書(無料)をお送りします

大連交通大学 情報システム学院 中国語・文化センター(大連旅順) 東京事務所: 東京都大田区東嶺町 25-11 [電話] 03-3754-2266/050-68606705(IP) [eメール] takahashiatm@hotmail.com

敬賀新年 東京都議会 日中友好議員連盟 〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

中国をはじめ、世界各地の名産品・銘酒を事前にお申込み頂くこと指定日にお届け致します。 ☆スーツケース・旅行用品も多数取扱い☆ カタログ無料贈呈 01204139880 〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目九 RHTトラベラー株式会社 TAMBLIF

最新情報は都日中ホームページで

東京都日中友好協会



紙面に掲載しきれない情報がホームページには満載。新情報も日々追加されています。各地区のイベント告知をホームページにて行っております。是非ご覧下さい! 各種教室、イベント等告知文書のホームページへの掲載も承ります。

ホームページ <http://www.jcfa-tyo.net/>

NPO法人東京都日中友好協会

第26回 中国語春期スクーリング

日時: 3月13日(日) 10時～16時30分

会場: ①ちよだプラットフォームスクエア ②日中友好会館7階会議室

- ★発音クラス (講師: 島村泰子)
- ★初級会話 (講師: 宋侃)
- ★中級クラス (講師: 閻瑜)

受講料: 会員 4,000円 / 一般 4,500円

※お申込・お問合せは事務局まで TEL: 03-3295-8241 FAX: 03-3295-8255 E-mail: to-nicchu@jcfa-tyo.net

〒107-0062 東京都港区南青山三十一番一十六 TEL 03-3408-6640 FAX 03-3408-7986

名譽 松山 樹子 芸術監督 清水 哲太郎 総代表 森下 洋子 団長

ザ・ジャパン・バレエ 松山バレエ団 松山バレエ学校

人に、環境に、やさしい医薬品のつくり。 たゆまぬ研究の歴史とミノファーゲン独自のノウハウが生かされています。 株式会社 ミノファーゲン 製薬 〒107-0052 東京都港区赤坂8-10-22 TEL 03(3402)6201(代)